

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公開番号】特開2009-53523(P2009-53523A)
【公開日】平成21年3月12日 (2009.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-010
【出願番号】特願2007-221296(P2007-221296)
【国際特許分類】

G 0 3 B 17/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/14

H 0 4 N 5/225 D

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月28日 (2010.6.28)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラ本体に対して交換可能な交換レンズであって、

前記カメラ本体と通信可能な通信手段と、前記カメラ本体から前記通信手段を経由して送信されたカメラ情報から前記カメラ本体を判別するカメラ判別手段と、前記カメラ本体から送信されたデータ送信要求に対し、前記カメラ判別手段による判別結果に基づいて前記カメラ本体への送信データを変換して送信する制御手段を有することを特徴とする交換レンズ。

【請求項 2】

前記送信データの変換は、符号を反転することにより実行されることを特徴とする請求項 1 に記載の交換レンズ。

【請求項 3】

前記送信データの変換は、前記送信データに特定の補正データを加算することにより実行されることを特徴とする請求項 1 に記載の交換レンズ。

【請求項 4】

カメラ本体と、前記カメラ本体に対して交換可能な交換レンズからなるカメラシステムであって、

前記交換レンズは、前記カメラ本体と通信可能な通信手段と、前記カメラ本体から送信されたカメラ情報から前記カメラ本体を判別するカメラ判別手段と、前記カメラ本体から送信されたデータ送信要求に対し、前記カメラ判別手段の判別結果に基づいて送信データを変換して送信する制御手段を有することを特徴とするカメラシステム。

【請求項 5】

前記送信データの変換は、符号を反転することにより実行されることを特徴とする請求項 4 に記載のカメラシステム。

【請求項 6】

前記送信データの変換は、前記送信データに特定の補正データを加算することにより実行されることを特徴とする請求項 4 に記載のカメラシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】交換レンズおよびカメラシステム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記目的を達成するために、本発明の交換レンズは、カメラ本体に対して交換可能な交換レンズであって、前記カメラ本体と通信可能な通信手段と、前記カメラ本体から前記通信手段を経由して送信されたカメラ情報から前記カメラ本体を判別するカメラ判別手段と、前記カメラ本体から送信されたデータ送信要求に対し、前記カメラ判別手段による判別結果に基づいて前記カメラ本体への送信データを変換して送信する制御手段を有することを特徴とする。